

小学校四年

ゆうチャレンジ 話すこと・聞くこと

この音声問題は、小学校第四学年国語問題の冒頭に放送するものです。

はじめに、小学校四年国語「話すこと・聞くこと」にチャレンジしましょう。
今から一回だけ、問題を放送します。よく聞いて、あとの問題に答えてください。問題用紙は開かないでください。聞いていて大切だと思うことは、表紙の空いているところにメモをしてもかまいません。

みさきさんの学級では、国語の時間に、自分ががんばっていることを紹介する「わたしのひみつ紹介」のスピーチをしています。あなたも、学級の一員になったつもりで聞きましょう。

先生

それでは、今から、「わたしのひみつ紹介」のスピーチを始めます。友だちがどんなことをがんばっているのか、しっかり聞きましょう。みさきさん、どうぞ。

みさき

わたしが、がんばっていることは、日記を毎日書くことです。日記を書き始めたのは、一年生のときからです。一日に一ページずつ書いているので、今書いているノートは二十冊目です。日記には、一日の出来事や自分が読んだ本のことなどを書いていきます。日記を読み返すと、どんなことがあったのか、また、自分が何を考えていたのかよくわかります。

三年生の時の日記を読み返してみると、かぜをひいて学校を休んだわたしに、ひろさんとゆみさんが手紙を持ってきてくれたことがありました。二人が、学校であったことやみんなが待っていることを伝えてくれて、とても嬉しい気持ちになったこと、自分も友だちのためになにかできる人になりたいと考えたことを書いていました。

毎日の出来事は忘れてしまいます。日記に書いておくことで忘れないし、ふり返ることができるのです。これからも日記を書き続けていきたいと思っています。

先生

みさきさん、ありがとうございます。みなさんは、みさきさんのスピーチを聞いて、どんなことを考えましたか。感想を発表してください。はい、さとるさん。

さとる

ぼくは、みさきさんが一年生の時から、日記を毎日書いているのは、すごいなあと思いました。みさきさんはどうして日記を書こうと思ったのですか。

みさき

一年生の夏休みに絵日記の宿題が出ました。その時は、めんどくさいと思ったのですが、毎日書いていたら、続けることが楽しくなったからです。

さとる

ありがとうございます。ぼくは、続けようと思っても、途中であきらめることが多いので、みさきさんを見習いたいです。

先生

ほかに、みさきさんのスピーチを聞いて、感想はありませんか。

この後も、感想の発表はまだ続きますが、放送はこれで終わりです。
それでは、問題用紙を開いて始めてください。